

タウンミーティング記録 想いをこめて 未来につなぐ

日 時 令和 8 年 7 月 7 日(火) 午後 7 時～午後 8 時 3 0 分
場 所 駒林会館
参加者 16 人



主な意見等

参加者 来年に蛍光灯の製造が終了することを踏まえ、駒林会館の照明の L E D 化についてはどのような対応を考えていますか。

市 長 駆け込み需要による L E D 照明の品薄が予想されるため、それに備えた対応を早期に進めていきたいと考えています。

参加者 おでかけサポートタクシーの協力事業者が、以前は複数ありましたが、現在は 1 社のみとなっています。配車を依頼しても、待ち時間が長くなる場合があるという話も聞きます。今後、タクシーの台数が増加する予定はあるのでしょうか。

市 長 現在の協力事業者には、配車台数を以前より増やしていただき、台数を維持しています。ただし、事業開始当初は利用可能範囲がふじみ野市内に限られていましたが、現在は富士見市および三芳町まで拡大したため、1 回当たりの移動時間が増え、待ち時間が発生しやすい状況です。

さらに、高齢化による需要の増加に加え、タクシー業界全体で運転手不足が課題となっています。今後は、高齢者の移動手段やそれに対する行政のサポートのあり方を検討する必要があると考えます。

参加者 駒林区画整理記念館が市の所有になったとのことですが、現在どのような用途で活用しているのでしょうか。介護予防センターや大井総合福祉センターまでの距離が遠いため、こちらで介護予防事業を实

施していただけたらと考えています。そのような予定はありますか。

市 長 現在は有料の貸し館として運営しています。介護予防事業の実施については現時点では未定ですが、駒林区画整理記念館に限らず、自宅の近くで介護予防事業に参加できるような取り組みを今後の課題として検討していきます。

参加者 駒林会館前の道路が、所沢方面から大宮方面への車の抜け道となっており、朝の時間帯は交通量が非常に多くなっています。安全面での不安もあります。富士見市との市境であるため、富士見市に働きかけて、道路整備を進めていただきたいと思います。整備が進むことで、物流の活性化と地域の発展につながる可能性があるのではないのでしょうか。

市 長 都市計画道路の整備は、財政面での課題から優先順位をつけることが難しい面もありますが、整備による効果を追求することが大切であると考え、富士見市に働きかけたいと思います。

参加者 上福岡駅近くの踏切の待ち時間が長い状況が、長年にわたって解決されていないままです。この問題についての現在の見解をお聞かせください。

市 長 かつて立体交差や地下道の整備が検討されましたが、実現には至りませんでした。仮に今後整備を進める場合、建設資材の高騰に伴う莫大な費用や、長期間の工事が必要になると見込まれるため、人口減少が進む中で、そのような大規模な整備を行うことは現時点では難しい状況です。代替案として、歩行者・自転車用地下道の整備の検討を進めるほか、道路の維持管理の対応を進めていきたいと考えています。

参加者 若年層の自治組織加入率が低い状況が続いています。加入しなくてもごみ出しが可能であることなどから、自治組織に加入することで得られるメリットが具体的に伝わっていないことが一因と考えられます。どのようなメリットがあるのでしょうか。

市 長 一つのメリットとして挙げられるのが、災害時の互助体制です。万が一の時には、地域の繋がりが重要になることを思い出していただければと思います。